

2021年6月15日

# 最近の長野県経済の動向 (月例調査)

2021年3、4月の経済データを基に、長野県内の景況を把握したものです。

## 概 要

全国景気	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している
長野県内景気	厳しい状況が続いているが、持ち直しの動きがみられる
3月の生産動向	生産は持ち直している
4月の個人消費	乗用車新車販売は2カ月連続で前年を上回る
4月の公共投資	公共工事保証請負額は2カ月連続で前年を下回る
4月の住宅投資	新設住宅着工戸数は4カ月ぶりに前年を下回る
4月の雇用情勢	有効求人倍率は8カ月連続で前月を上回る

今後は、新型コロナ変異株の広がりによる、経済への影響を注視する必要がある

照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部

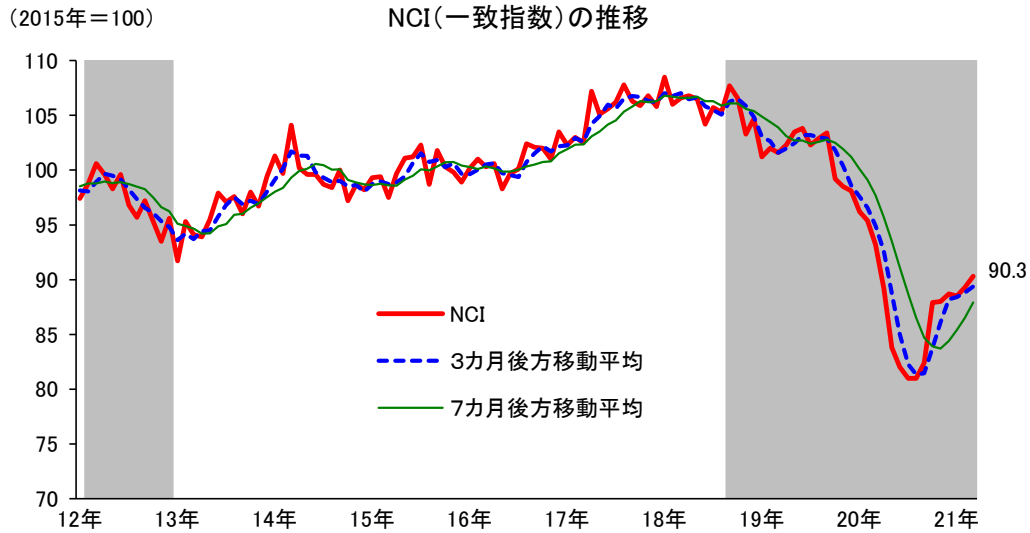
担当 桑井、中村

電話 026-224-0501

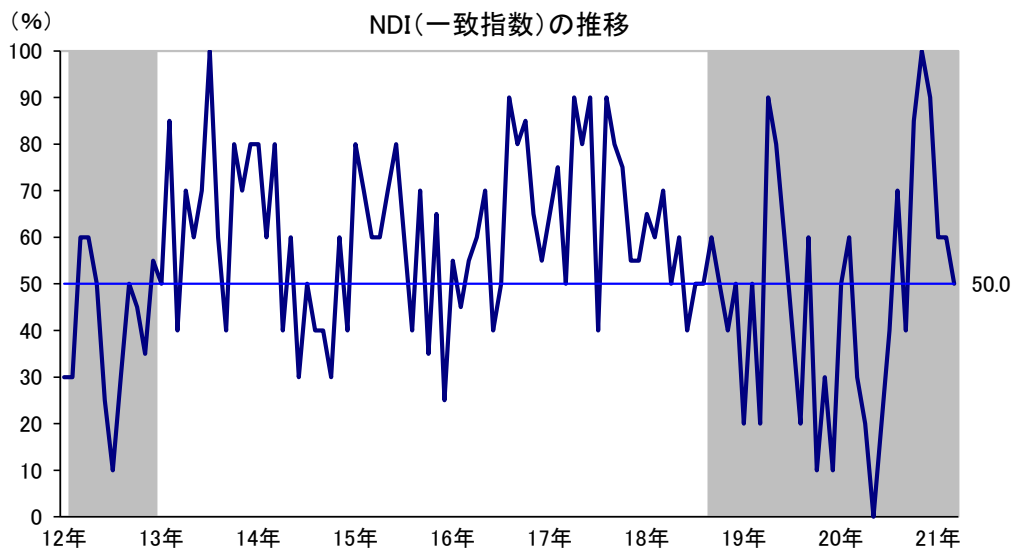


## 景気動向指数

- 3月のNCI(一致指数)は、90.3と前月と比較し+1.0ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同+0.5ポイントと7カ月連続で上昇し、7カ月後方移動平均は同+1.4ポイントと4カ月連続で上昇した。NCI(一致指数)は、改善を示している。
- NDI(一致指数)は、景気判断の分かれ目の50.0%となった。



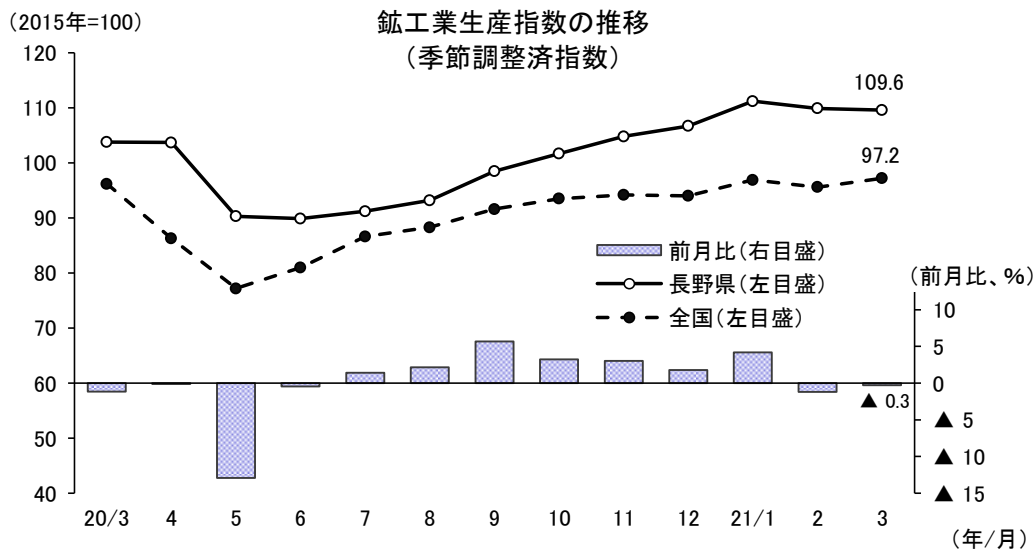
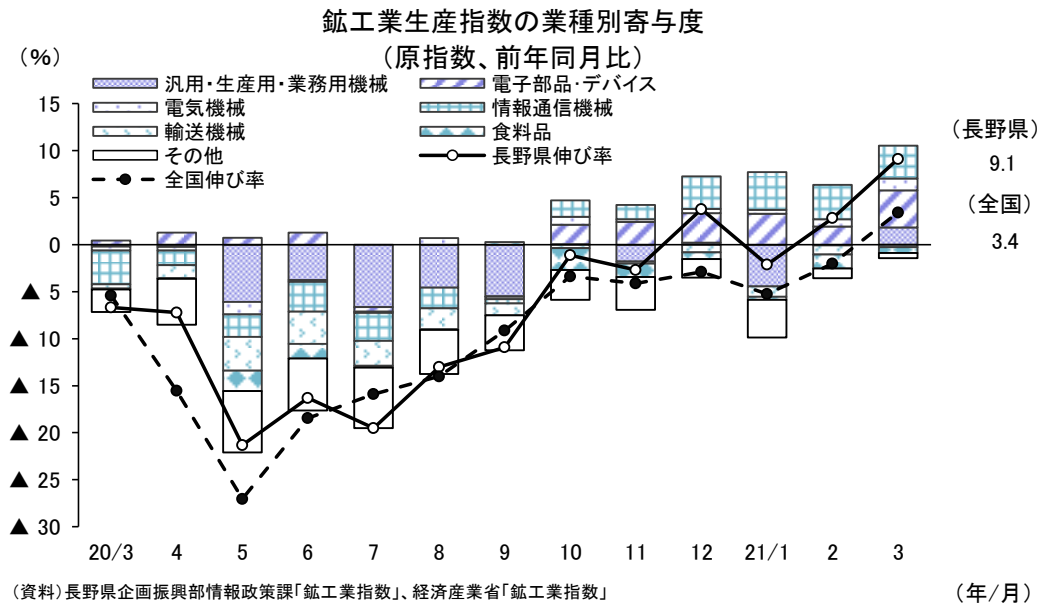
(資料)当研究所「長野県景気動向指数」  
 注1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す  
 注2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す



(資料)当研究所「長野県景気動向指数」  
 注1.NDIは長野県の景気の方角、波及度合いを示す  
 注2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す

## 生産は持ち直している

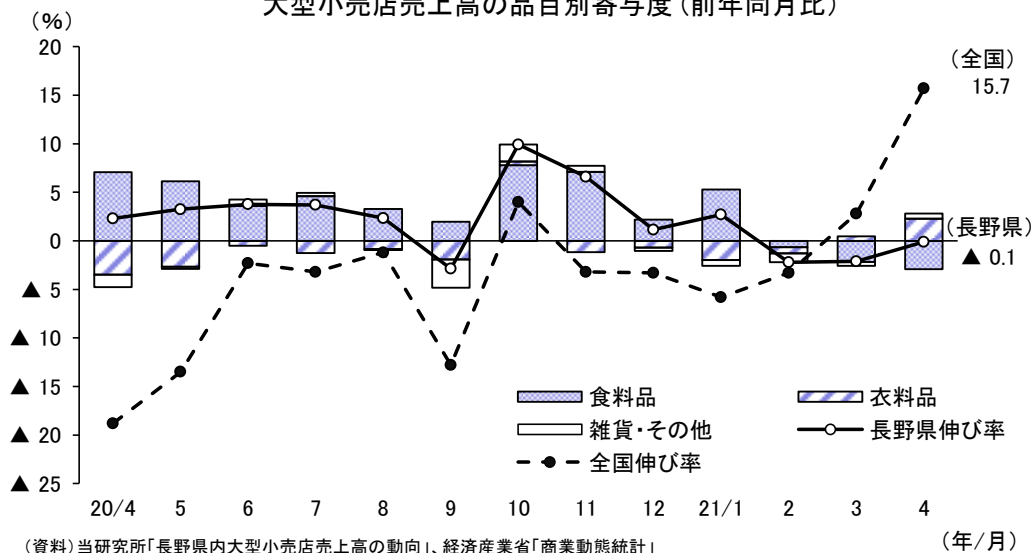
- ・3月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比+9.1%、季節調整済指数が前月比△0.3%となった。
- ・季節調整済指数は2カ月連続で前月を下回ったが、原指数は2カ月連続で前年を上回った。中国を中心とした外需の増加から、生産は持ち直している。
- ・主要業種別にみると、「食料品」は前年を下回ったものの、民生用電子機械等の「情報通信機械」や電子部品等の「電子部品・デバイス」などは前年を上回った。



## 乗用車新車販売は2カ月連続で前年を上回る

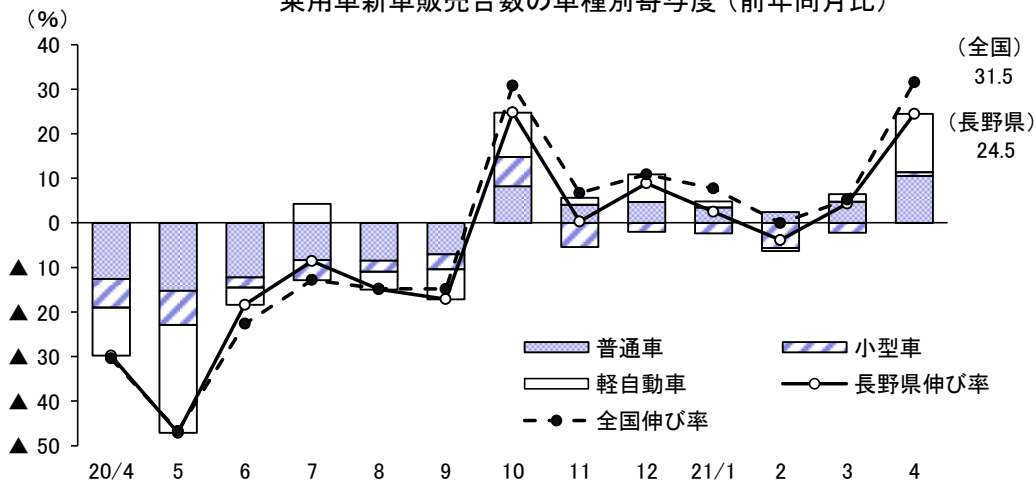
- 4月の大型小売店売上高は、前年同月比△0.1%（売場面積調整前）となり、3カ月連続で前年を下回った。食料品は、新型コロナ感染防止のための内食需要が続いているが、買いだめ需要が強かった昨年の反動に加え、野菜価格の下落もあり、同△3.3%だった。一方、衣料品、雑貨・その他は、緊急事態宣言による休店があった前年の反動で、それぞれ同+91.0%、同+6.2%と増加した。
- 4月の乗用車新車販売は、新型コロナの影響で落ち込んだ前年の反動で、前年同月比+24.5%と2カ月連続で前年を上回った。普通車は引き続きSUVが好調で同+40.1%と7カ月連続で前年を上回ったほか、軽自動車は同+31.2%と2カ月連続で、小型車は同+2.6%と6カ月ぶりに前年を上回った。

大型小売店売上高の品目別寄与度（前年同月比）



（資料）当研究所「長野県内大型小売店売上高の動向」、経済産業省「商業動態統計」  
 （注）全国伸び率：21年4月分は速報値

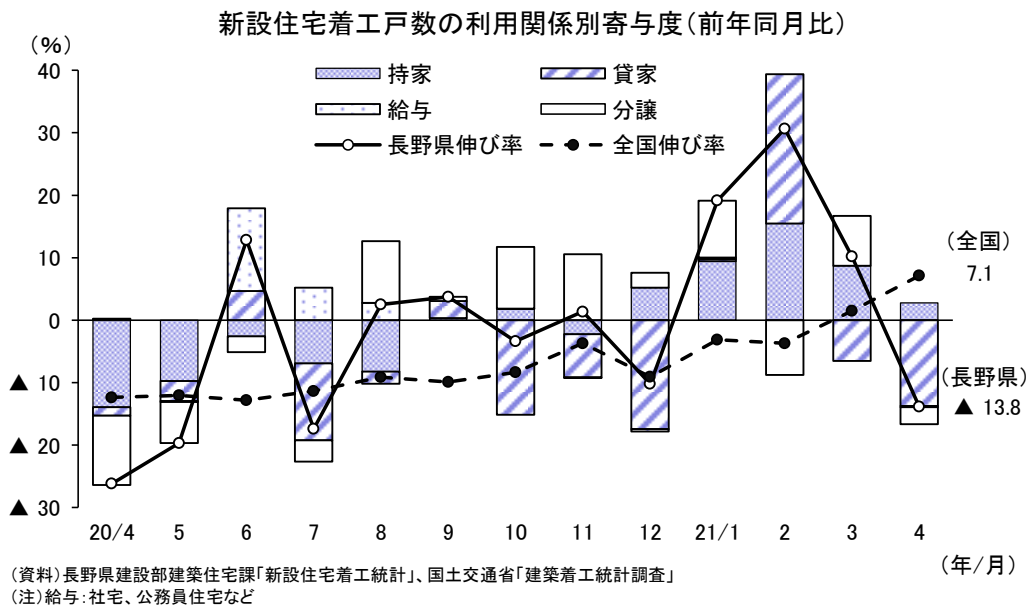
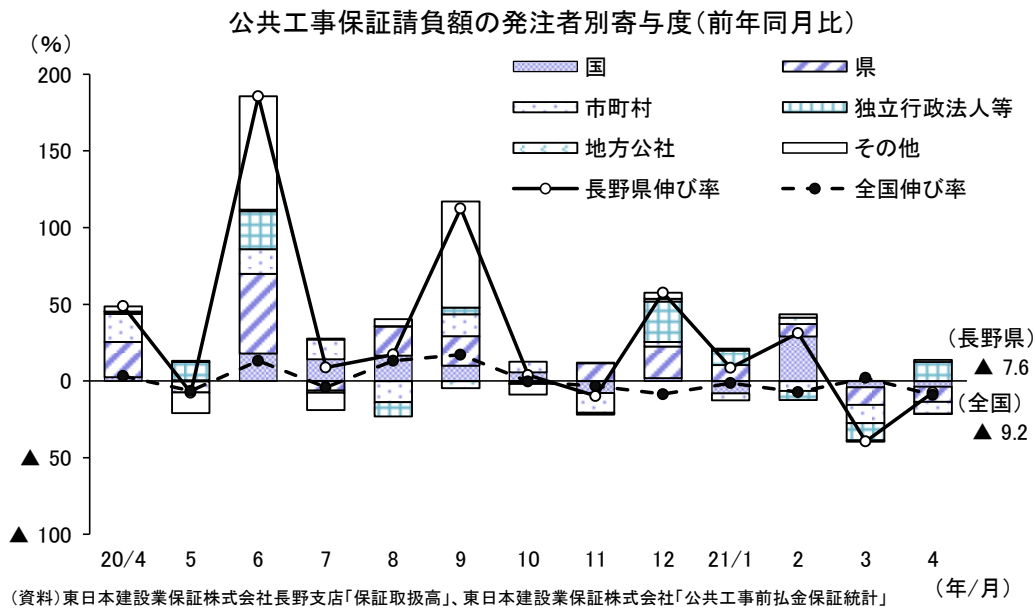
乗用車新車販売台数の車種別寄与度（前年同月比）



（資料）北陸信越運輸局長野運輸支局「長野県における新車新規登録台数：乗用車」、  
 一般社団法人日本自動車販売協会連合会「車種別販売台数」、  
 一般社団法人全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売台数速報」  
 （注）普通車：3ナンバー車、小型車・軽自動車：5ナンバー車

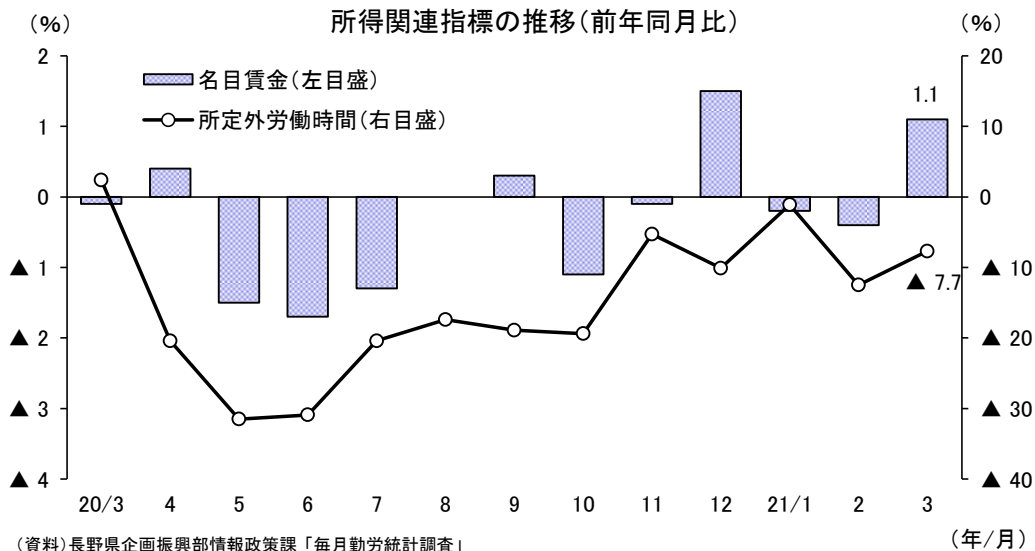
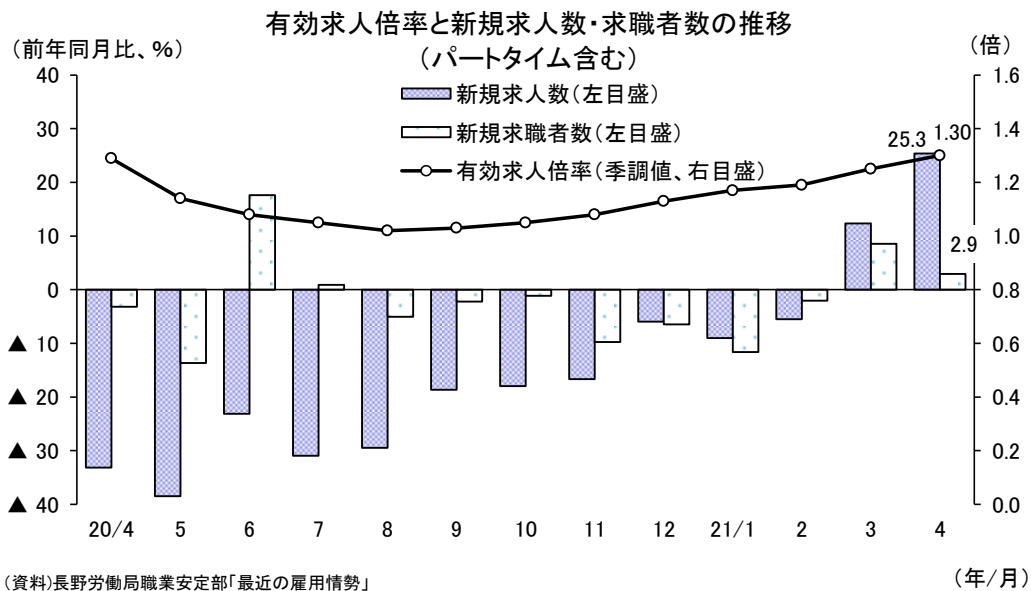
## 公共工事保証請負額は2カ月連続で前年を下回る

- ・4月の公共工事保証請負額は、前年同月比△7.6%の350億4,900万円となり、2カ月連続で前年を下回った。発注者別にみると、独立行政法人等が同+124.0%、その他が同+24.4%と増加したものの、国が同△30.5%、県が同△26.8%、市町村が同△22.0%といずれも減少した。
- ・4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比△13.8%の829戸と4カ月ぶりに前年を下回った。利用関係別にみると、持家は同+5.0%と増加したものの、貸家は同△48.2%、分譲が同△17.7%と減少した。



## 有効求人倍率は8カ月連続で前月を上回る

- ・4月の有効求人倍率は前月比+0.05ポイントの1.30倍と、8カ月連続で前月を上回った。
- ・新規求人数(全数)は前年同月比+25.3%となり、2カ月連続で前年を上回った。このうち常用は同+26.2%、パートは同+18.3%となった。主要産業別では、製造業が同+65.9%、建設業が同+29.4%、宿泊業・飲食サービス業が同+15.6%と大きく前年を上回ったが、卸売業・小売業は同△2.4%と前年を下回った。
- ・新規求職者数(全数)は、前年同月比+2.9%と2カ月連続で前年を上回った。
- ・3月の名目賃金は前年同月比+1.1%と2カ月ぶりに前年を上回ったものの、所定外労働時間は同△7.7%と12カ月連続で前年を下回った。



## 県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

### 有効求人倍率は7カ月連続で全国を上回る

- 4月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月比△0.03ポイントの1.21倍、東信が同+0.08ポイントの1.34倍、中信が同△0.02ポイントの1.11倍、南信が同+0.05ポイントの1.18倍となった。東信は2年5カ月ぶり、南信は2年4カ月ぶりに前年を上回った。
- 職業安定所別有効求人倍率(全数)は、飯山と大町が1倍を下回ったが、その他の職業安定所は前年同月を上回った。
- 長野県の有効求人倍率は7カ月連続で全国を上回り、順位は前月から3つ上げ12位となった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(21年4月)

地域	北 信(1.21) (前年同月比▲0.03)				東 信(1.34) (前年同月比0.08)		中 信(1.11) (前年同月比▲0.02)			南 信(1.18) (前年同月比0.05)		
	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全 数	1.28	1.24	0.95	1.14	1.33	1.35	1.13	1.43	0.82	1.19	1.12	1.21
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.16	0.09	0.08	0.10	0.22	▲ 0.07	▲ 0.03	0.05	0.00	0.12	0.04	▲ 0.01
うち常用	1.16	1.18	0.92	1.05	1.09	1.26	0.97	1.30	0.83	1.11	0.99	1.13
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.20	0.06	0.10	0.09	0.09	▲ 0.10	▲ 0.07	0.04	▲ 0.02	0.12	▲ 0.03	▲ 0.06

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」

(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値

